

・連合山形青年委員会・

# かわらばん



## 第1号

(組織内部資料)

連合山形青年委員会  
発行責任者 阿部一樹

## 「学習と交流」を通し、青年が未来を変えていこう!

2019年10月30日(水) 大手門パルズにおいて、連合山形青年委員会第30回総会が開催されました。

総会では、2019年度の活動報告と2020~2021年度の活動補強方針の説明を行い、すべての案件が承認されました。

総会後には、防災・減災ファシリテーターの細谷真紀子さんから「生きるを楽しむ減災～自分らしい減災を見つけよう～」の講演をいただきました。防災対策の基本は、自助・共助・公助であること、ハザードマップから災害をイメージすること等をわかりやすく教えていただきました。気候変動により、毎年日本各地で起こる自然災害。防災・減災は喫緊の課題です。みなさん真剣に耳を傾けていました。

今年は30回という節目の年です。青年委員会の Motto である「学習と交流」を通して、青年の力を結集し、わたしたち青年が未来を変えていきましょう。



### 総会宣言

東日本大震災から8年7ヶ月が経過し、被災地の復興が進みつつあるなか、今年には山形県沖地震や九州北部豪雨、台風15号・19号による甚大な被害により、多くの方々が大変な生活を強いられている。

私たちは働く仲間として、風化させることなく支援を継続していかなければならない。

社会情勢に目を向けると、第4次安倍内閣が発足したが、閣僚は首相のお友達の出戻りと横滑り、待機組の一斉セールのような布陣となった。日韓対立や米中貿易摩擦、北方領土や北朝鮮情勢等の外交問題が山積し、軽減税率など多くの課題がある中10月から消費税が10%へ引き上げとなった。一部の富裕層やお友達だけが恩恵を受け、違った意見を排除するような社会にしてはならない。

9月23日、ニューヨークの国連本部で「気候行動サミット」が開催され、スウェーデンの高校生が、地球温暖化に対する大人たちの無策や無関心さを痛烈に批判し訴え、その姿は世界中で数百万人のストに発展させた。

私たち青年も声をあげ、その声を反映させよう。未来の社会を作るのは、わたしたち青年である。

本総会で私たちは、向こう一年間の活動方針を確認した。連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」実現のため、連合山形に結集する仲間の一員として、現場の最前線で働く青年労働者として、一致団結して運動を前進させていこう。

そして、誰もが安心して働き、生活していける社会の実現にむけ、「学習と交流」を通じ、地域・産別の枠を越えた青年の力を結集することをここに誓いあおう。

以上、宣言する。

2019年10月30日  
連合山形青年委員会第30回総会



### 2020-2021年度役員体制

役職名	氏名	構成組織名
委員長	阿部 一樹	全 労 金
副委員長	金 子 良	県 教 組
副委員長	鈴木 友博	交 通 労 連
副委員長	菊地 佳樹	電 機 連 合
事務局長	上野 航太朗	自 治 労
事務局次長	佐藤 拓人	森 林 労 連
幹 事	阿部 芳紀	J A M
幹 事	森 大輔	電 力 総 連
幹 事	矢作 仁	情 報 労 連
幹 事	中村 大志	J P 労 組

## 「山形大学寄付講座」への参画

12月9日月曜日、山形大学で行われた寄付講座に青年委員会を代表し、JP労組の本間前青年委員長とゲストスピーカーとして参加しました。90分間時間を頂き「青年労働者の問題意識と労働組合」というテーマの講話を、大きく4項目の内容に分けて話をさせて頂きました。

1. 若者の離職率について
2. 青年委員会メンバーの職場について
3. 青年委員会の活動について
4. 入社して10日でやめていく新入社員に思う、採用担当者の本音と葛藤

学生の前で話す経験がなく、90分の講義の依頼を受けたときは不安でしたが、始まってみると受講される学生の方々は熱心に耳を傾けてくれました。一方的な講義とにならないよう、質問等を交えた対話形式で進行したことが良かったのかもしれません。また、学生に年齢の近い青年層の話であったことに加え、これから社会人となり就職活動を控える学生にとっては、興味深い内容であったと思います。講義後のアンケートでは、好意的な意見が多数寄せられました。引き続き、青年委員会として学生の方々に伝えていけるような、活動や役割を果たしていきたいと思ひます。

青年委員会委員長 阿部一樹



## スキー・スノボ学習交流会を開催しました！



### 「2020スキー・スノーボード学習交流会」に参加して

1月31日金曜日及び2月1日、蔵王温泉「ヴァルトベルク」で2020スキー・スノーボード学習交流会が開催されました。参加メンバーは17名で、当初は雪不足のため、開催が危ぶまれましたが無事開催することが出来ました。

初日の学習会はコンセンサス実習授業をテーマに行いました。内容は「月で遭難したら、あなたは何を優先して持っていくますか？」という課題を設定し、下記の4項目を要点にしながらグループ討議を行いました。

1. 自分の意見を大切に
2. 他人の意見も大切に
3. 納得したら変える
4. 変えたら伝える

年齢も職場も違う方々が理解し合うのは難しいと思ひていましたが、相手の話をよく聞き、考え、そして、自分の意見も発言することで紆余曲折しながらではありましたが、分かり合えました。とても有意義な時間であり、今後の生活や職場においても生かせる内容でした。

2日目のスノーボード交流会では、積雪はありましたが雪がとても硬かったです。インストラクターの齋藤さんより「転ぶことが1番怪我をする」と指導を受けましたが、初心者の方は七転び八起きでした。インストラクターの先生の指導の元、午前・午後と滑走しましたが、誰一人怪我をすることなく楽しめました。

2日間という短い時間でしたが、初日の分散会・交流会で参加者が打ち解け合い、2日目はそれを踏まえてのスポーツ交流でとてもスムーズな運営が出来たと思ひます。

今回は参加人数が減少してしまいましたが、来年度はたくさんの方に参加して貰えるような企画立案をしていきたいと思ひます。

連合山形青年委員会  
幹事 阿部芳紀

